

## 2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 宝達志水町立樋川小学校 ] 担当教諭名 [ 尾崎 久美子 ] ( 3年 21名 )

交流相手国 [ ジンバブエ ]

海外学校名 [ Helena Infant School ] 担当教諭名 [ Chipo Marunda ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	「見つけよう！伝えよう！町のじまん」	40
	国語	「かるた」	2
	図画工作	キャンバスに絵を描こう	6

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	平和な世界～日本とジンバブエが繋がった～
絵に込めたメッセージ	協働学習として、「町のじまん」と「遊び」について伝え合った。ジンバブエに四季がないことを知り、日本側は四季の中に「町のじまん」を取り入れて日本と自分たちの町を紹介した。そして、その周りに、日本の遊びで遊ぶジンバブエの友達と自分たちの絵を描いた。「一緒に遊んで友達になりたい。仲良くなりたい。」という思いが込められている。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの町や日本のじまんとたくさん知ることができ、相手に伝えることができた。また、相手のことをよく知ることができた。</li> <li>・みんなで協力して、町じまん発表会や壁画製作ができた。</li> <li>・外国の人と友達になることができ、仲良くなることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジンバブエの人と遊べたらよかった。</li> <li>・ジンバブエの人にわかりやすいように太陽を描いて、つながったらよかった。</li> <li>・英語ができなかった。</li> <li>・もっといろいろなことを聞きたかった。</li> </ul>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉でなくても絵やジェスチャーで伝えることができたことが分かった。</li> <li>・相手校の先生がアートマイルの活動に参加した動機や郵送費を確保するために苦労されたことを知り、人間は思いさえあれば、行動に移せることがわかった。</li> <li>・外国は違う人で、敵のように感じていたけど、仲よくすれば、住んでいるところの違いや様々な特徴があるけど、中身は同じだと思った。</li> <li>・世界で起きていることを知らなかったけど、たくさんの国々で紛争が起きていることを知り、ぼく達と交流して、戦争はよくないことや平和の大切さを伝え、戦争が起きない世界にしたい、平和でみんなが笑顔の国にしたいと思った。</li> <li>・外国に興味がなかったけど、日本と外国の文化では、全く違うことがあり、他の国にも知らないことがあるのかなと外国に興味をもった。いつか外国に行ってみたいと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジンバブエについて何も知らなかったが、教育環境や情勢が少し分かった。そして、それらを児童に還元できた。</li> <li>・第3学年では、英語での交流が難しく、活動への参加が不安であった。しかし、交流を始めると、児童は目を輝かせ、フォーラムでのやり取りを楽しみにするようになった。フォーラムを通じて、少しの言葉とたくさんの画像で十分に交流し合えると分かった。</li> <li>・今回、協働学習のテーマを「遊び」とした。「遊び」をテーマとすることで、文化のやり取りができた。そして、その遊びを実際に試してみようとする児童の姿が見られた。「ジンバブエの人と仲良くなって友達になれた」という思いを強くもつことができたのは、テーマの選択がこの時期の児童に適していたからだと感じた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	1学期 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こけし」を型取ったカードに、自分の顔、好きな遊び、将来の夢を描いた。こけしの着物は、紹介したい日本のものを柄とした。</li> </ul>	3年生にとって英語でのやり取りは難しいので、ローマ字や絵で自己紹介カードを作成した。相手に、自分の名前を知ってもらおうと、楽しんでカード作りを行っていた。	総合3
テーマ学習	9月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町たんけんの後、町のじまんについてグループに分かれて調べ活動を行った。</li> <li>・絵カードで、遊び紹介。</li> <li>・カルタで日本紹介。</li> </ul>	見学に行く計画を立てたり、インタビューを行ったり、意欲的に調べ活動を行うことができた。実際に見たり聞いたりすることで、自信をもって「町のじまん」を伝えることができた。発表用ソフトを用いたり、壁新聞やガイドブックを使ったり、既習や他教科生かして効果的な発表方法を選択することができた。	総合33 国語2
構図決定	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級全体に壁画の図案を募集。伝えたい日本について話し合う。</li> <li>・下描きをフォーラムで提案。</li> </ul>	協働学習のテーマ「町のじまん」と「遊び」が伝わる絵にしようと、進んで意見を出し合った。児童一人一人が相手に伝えたい遊びでいっしょに遊んでいる姿を描こうという案にまとまった。	総合2
壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で下描き、色塗りを行う。</li> </ul>	カーボン紙を用いて、全員で下書きを行った。自分の描いた絵が壁画に載ると嬉しそうであった。協力し合って全員で彩色する活動を楽しんでいた。	図工6

鑑賞・ 振り返り	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオレターで喜びのメッセージを撮影し送る。</li> <li>・作品とともに記念撮影。</li> <li>・全校に活動報告, 作品紹介。</li> </ul>	虹がつながり, ジンバブエの人が手をつないでくれたことに, 大変喜んでいました。また, ジンバブエの有名な木の上で, 自分達がジンバブエの友達と遊んでいる様子を見て, すごく嬉しそうであった。	総合2
-------------	----	--	--	-----

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町じまん発表会を通して, 自分の町のことをたくさん知ることができた。遊び紹介, カルタ作りを通して, 町のことや日本の文化を知ることができた。</li> <li>・活動を通して, 自分の国や町は平和だと感じていた。</li> </ul>
異文化の理解	A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジンバブエの遊びや食べ物, 暮らしや学校の様子など, 知らなかったことをたくさん知ることができた。</li> <li>・自国の文化や生活と比べながら, 写真を見ていた。</li> <li>・相手国の情勢についても学ぶことができた。</li> </ul>
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町のじまんと友達と協力して調べ, パソコンを使って上手に発表していた。</li> <li>・ローマ字や絵で自己紹介カードを作成し, 紹介できた。</li> <li>・英語は分からないが, 写真や知っている単語から予想できた。</li> </ul>
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンを使って情報交換ができた。国の情報を知ることの大切さを感じていた。</li> <li>・相手に質問し, 知らなかったことを知る楽しさを味わっていた。また, 自分達も写真を用いて相手に伝えようとしていた。</li> </ul>
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化や住む所が違っても同じ人間であり, 助け合い, 協力し合えることを活動を通して学べた。</li> <li>・外国の人と話せたり, 友達になれたりすることを実感していた。ジンバブエの人と, たくさん交流できた。また, 遊びを紹介し合い, 交流を継続することで, 仲良くなれた気がした。</li> </ul>
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を出し合い, アドバイスし合いながら, 構図を考えることができた。声をかけ合いながら, みんなで協力して一枚の絵を描くことができた。ジンバブエと分担して描くことができた。</li> </ul>
学習を追究する意欲	A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問をすると答えてくれて, 相手のことがよく分かった。</li> <li>・ジンバブエのことがもっと知りたいと思った。</li> <li>・ジンバブエのニュースを耳にすると新聞をもってきて紹介したり, 話題にしたりしていた。他の国のことにも興味をもてた。</li> </ul>
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の遊びを紹介して遊んでもらえた。</li> <li>・壁画制作では, それぞれの国のじまんと紹介したいことを絵で表すことができた。字を書かなくても, 伝えられることを学んだ。</li> </ul>
作品を鑑賞する力	A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁画を見て, たくさん意見交換ができた。</li> <li>・相手校が, 手や虹をつないでくれて, 喜んでいて。相手国が, 自分達と木登りをして遊んでいるところを描いてくれてうれしかった。日本とジンバブエがつながったと感じていた。</li> <li>・相手国の虹の描き方が予想外であったが, その構造のよさを感じていた。</li> </ul>